

九州大学大学院薬学府附属薬用植物園

施設概要と実績

令和5年度版



押収したアサ種子の発芽実験

アサの種子は麻子仁あるいは火麻仁と称され、漢方では緩下などを目的に使用される重要な生薬である。本目的で使用される麻子仁は、発芽阻害処理がなされており、大麻取締法の適用外である。これに対し発芽可能なアサの種子の所持は、大麻取締法に違反しているとされている。近年、アサを違法に栽培する事件が頻発しており、摘発によりアサの種子が押収されるケースも増えている。種子の発芽能力は、外観のみの観察で判定することが困難であるために、実際に栽培しないと証明できない。アサの栽培許可を受けている当園は、日本では数少ない押収種子の発芽能力を調べることが可能な施設である。

1. 沿革

薬用植物園は、昭和42年九州大学薬学部の実験施設として設置された後、昭和49年4月11日の国立学校設置法施行規則の改正により、薬学部の附属施設として正式に認可された。これに伴い、昭和46年6月に野原稔弘教務員が本施設の助手として配置され、同年10月には西岡五夫教授が初代薬用植物園長に就任した。昭和53年4月には、専任教官として助教授一名が助手の振替定員として認められ、正山征洋助教授が就任し、薬用植物園の運営に携わった。平成11年4月に薬学部組織の大学院重点化に伴い、本施設は大学院薬学研究科の附属となったが、平成12年に大学院薬学府附属薬用植物園に変更された。

本施設は病院地区に設置されている。平成28年度の国公立大学薬用植物園園長会議において、附属薬用植物設置基準が提案された。この案では、標本園（供覧のための圃場）の学内設置を重要条件としていることから、九州大学薬学府薬用植物園では、平成28年度以降病院地区の標本園の充実に取り組んでいる。

2. 特 徴

【病院地区施設】

病院地区の薬用植物園は、260 種を超える薬用植物が生育しており、学生、薬剤師、一般人に公開している。

本園では半夏、当帰、甘草、黄芩など漢方薬に汎用される重要生薬の基原植物を栽培している。特に当帰の基原植物として、ホッカイトウキ、トカチトウキ、ホソバトウキ、ヒュウガトウキなど数多くの品種を栽培している。

これら生薬の原料植物に加え、有毒植物も植栽している。平成28年は誤食による中毒事件（ニンソウと間違えてトリカブトを摂取し死亡する事件、ギョウジャニンニクと間違えてイヌサフランを摂取し死亡する事件）が報道されたことから、誤認されやすい食用植物・有毒植物も栽培している。

併せて、特定植物（法律で栽培施設を備えており、アヘン原料植物（ケシ、アツミゲシ）、麻薬原料植物（コカノキ）、大麻原料植物（アサ）などの植物を研究している。ケシについては6品種（いずれも東京都立薬用植物園より譲渡された種子を栽培）、アサについては2品種を栽培しているこのような多くの種類の規制植物が植栽されている大学附属の薬用植物園は国内では例がない。

3. 研究実績

昭和 42 年附属薬用植物園が稼働すると同時に、大麻に関する研究を開始した。昭和 48 年には「無毒大麻」その固定に成功した。本品種は「とちぎしろ」されており、幻覚成分を含まず、繊維としての品質も優れていることから、現在では、繊維を採取するために、栃木県等で広く栽培されている。また、大麻の研究は、薬学研究院薬用資源学分野との共同研究により、現在も継続している。とくに、幻覚成分の生合成研究は、世界的に注目される多数の重要な結果を発表している。



無毒大麻 とちぎしろ

さらに、昭和 53 年から専任教官として助教授が配置されたのに伴い、本格的な薬用植物に関する育種研究を開始した。マイクロプロパゲーションを利用した主要な薬用植物の均質化を目指した研究や細胞培養や組織培養法を駆使した薬用植物の育種研究が中心テーマとなった。この結果、アカヤジオウ（地黄：強壯薬）、ハナトリカブト（附子：強心薬）、オタネニンジン（人参：強壯薬）、トチバニンジン（竹節人参：去痰、強壯薬）デンシチニンジン（田七人参：強壯、止血薬）、ホソバオケラジュツ（朮：建胃、駆風薬）、アミガサユリ（貝母：鎮咳薬）、カラスビシャク（半夏：水分代謝改善）などのマイクロプロパゲーション法の開発に成功した。また、最近では、有効成分含量の高い薬用植物の育成に必要な、高感度で簡便な植物成分の定量法の開発を行っており、重要な薬用成分につ

いてモノクローナル抗体を用いた ELISA の確立に成功している。

4. 教育実績

学部学生や大学院生に各種薬用植物の栽培法を教授している。フィールドワークを通して薬用植物の実物を提供することによって、生薬学分野で活躍できる人材の育成を行っている。また、生薬学を専攻する学生に対して、前述した研究を通じて、薬用植物の栽培に関する技術・知識の教授を行っている。



生薬学講義の一環として、ケシ・アサ栽培施設を見学する学部2年生

5. 共同研究実績

附属薬用植物園では、純度の高い大麻成分の大量精製法を確立しており、国内ではカンナビノイドの大量調製が可能な唯一の施設として注目されている。大学や地上自治体の研究室から各種カンナビノイドの譲渡依頼に応じて、サンプルを供与している。

大麻および関連物質の譲渡実績

供与年月	供与先	供与物質	
平成21年 6月	福岡大学薬学部	THC	大麻草
平成22年10月	長崎国際大学薬学部	THC	
平成23年 9月	福岡大学医学部	THCA	
平成24年11月	神戸薬科大学	THCA	
平成25年 4月	神戸薬科大学	THCA	THC
平成25年 9月	(株)ウシオ電機	THCA	大麻草
平成26年 8月	佐賀県衛生薬業センター	THCA	CBDA
平成26年12月	国際統合睡眠医科学研究機構	THCA	
平成27年10月	北海道農政部生産振興局	THCA	CBDA
平成27年 5月	星薬科大学	THC	
平成27年 5月	富山大学薬学部	THC	
平成28年 3月	星薬科大学	THC	
平成28年 3月	富山大学薬学部	THC	
平成29年11月	立命館大学薬学部	THC	CBD
平成31年 3月	東京医科歯科大学 法医学	THC	
平成31年 3月	星薬科大学	THC	
令和 2年12月	星薬科大学	THC	

6. 社会貢献実績

【施設の公開】

病院地区の附属薬用植物園は一般に公開されており、希望すれば一般市民を対象に見学会を実施している。併せて、毎年1回、薬用植物園主催の公開講座を開催し、薬用植物に関する知識を一般人に還元している。

薬草園の見学・利用実績は、平成28年度以降では毎年200名を超える人が本施設を見学している。しかしながら、令和2年度以降では、新型コロナウイルス感染拡大影響で、一般人の見学を中止している。今後は本感染症の流行状況を考慮しながら、見学の受け入れを検討する計画である。

【漢方薬・生薬認定薬剤師研修施設】

漢方薬・生薬認定薬剤師制度は、漢方薬および生薬に関して、服薬指導や適正な取扱いなど薬学的管理を的確に行える薬剤師の養成を目的としている。

病院地区の附属薬用植物園は平成12年より漢方薬・生薬認定薬剤師研修施設に指定されており、多くの薬剤師が研修を受けている。本施設では、9回の講義研修と年2回の薬用植物園実習を馬出地区で開催しており、年1回行われる漢方薬・生薬認定薬剤師試験のための会場も提供している。しかしながら、令和2年度以降は、コロナウイルス感染拡大のために、研修を中断している。



漢方薬・生薬認定薬剤師制度の「薬用植物園実習」を受講している薬剤師

【大麻不法所持事件の捜査協力】

附属薬用植物園は麻薬植物やアサ（大麻）の栽培許可を受けており、大麻に関しては、世界で最高水準の鑑定技術を有している。このため関係機関（福岡県警を中心に北海道旭川地方検察庁から鹿児島県警奄美警察署）の依頼に応じて大麻取締法違反事件等に関する

る捜査協力も行っており、から（平成 27 年度 2 回、平成 28 年度 6 回、平成 29 年度 10 回、平成 30 年度 5 回、令和元年度 10 回、令和 3 年度 8 月現在 12 回）。最近では大麻犯罪の増加に伴い、栽培鑑定依頼の件数が大きく増加している。

令和 3 年度来訪者実績（警察関係者）

来訪月	来訪者
令和3年4月	函館地方検察庁 検事および事務官
令和3年5月	福岡県警博多警察署員
令和3年5月	福岡県警朝倉警察署員
令和3年5月	福岡地方検察庁 副検事および事務官
令和3年5月	福岡県警中央警察署員
令和3年6月	福岡県警中央警察署員
令和3年6月	福岡県警警察本部署員
令和3年6月	福岡県警東警察署員
令和3年7月	福岡県警中央警察署員
令和3年8月	福岡県警大牟田警察署員
令和3年8月	福岡県警小倉北警察署員
令和3年8月	福岡県警柳川警察署員

【薬用植物の譲受】

平成 28 年度から病院地区薬草園において、本格的に薬用植物の栽培をスタートさせた結果、80 種以上の薬用植物の栽培に成功した。このうち、本園において十分な繁殖がみられた薬用植物（オミナエシ、カラスビシャク、ジギタリス、ケジギタリス、ムラサキ、アミガサユリ、クロッカス、など）を他大学（第一薬科大、山口東京理科大）の薬用植物園に譲渡した。また、第一薬科大学よりマオウ属植物を譲渡された。

7. 生薬標本

薬学研究院では、附属薬用植物園および生薬学分野の教員の協力により、薬用植物を基原とする 1000 種以上の生薬を蒐集し、標本室に展示している。



8. 附属薬用植物園 基礎データ

【所在地】

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

【敷地面積】

病院地区

約 0.16 ヘクタール



d. 管理者

薬学研究院長	大戸茂弘	教授
薬用植物園長	小柳 悟	教授
生薬学分野	坂元政一	准教授

g. 歴代園長

昭和49年10月1日	～	平成 2年9月30日	西岡五夫	教授
平成 2年10月1日	～	平成 4年3月31日	古森徹哉	教授
平成 4年 4月1日	～	平成16年3月31日	正山征洋	教授
平成16年 4月1日	～	平成20年3月31日	樋口隆一	教授
平成20年 4月1日	～	令和 2年3月31日	森元 聡	教授
令和 2年 4月1日	～	令和 5年3月31日	平井 剛	教授
令和 5年 4月1日	～	現在まで	小柳 悟	教授

付 録

植物目録 (病院地区薬用植物園)

調査期間：令和元年 4 月～（進行中）

調査場所：病院地区薬用植物園および周辺

調査者：森元聡、坂元政一

Gymnospermae (裸子植物亜門)

Ginkgoaceae (イチョウ科)

Ginkgo biloba (イチョウ) 栽培

Podocarpaceae (イヌマキ科)

Podocarpus macrophyllus (イヌマキ) 栽培

Taxaceae (イチイ科)

Cephalotaxus harringtonia (イヌガヤ)

Taxus baccata (セイヨウイチイ) 栽培

Ephedraceae (マオウ科)

Ephedra sinica (マオウ) 栽培

Angiospermae (被子植物亜門)

Dicotyledoneae (双子葉植物綱)

Archichlamydeae choripetalae (離弁花植物亜綱)

Casuarinaceae (モクマオウ科)

Casuarina equisetifolium (トクサバモクマオウ) 栽培

Myricaceae (ヤマモモ科)

Myrica rubra (ヤマモモ) 栽培

Juglandaceae (クルミ科)

Juglans mandshurica var. *sachalinensis* (オニグルミ) 栽培

Pterocarya stenoptera (シナサワグルミ) 栽培

Fagaceae (ブナ科)

Castanea crenata (クリ) 栽培

Quercus acutissima (クヌギ) 栽培

Quercus glauca (アラカシ) 栽培

Quercus salicina (ウラジロガシ) 栽培

Ulmaceae (ニレ科)

Celtis sinensis var. *japonica* (エノキ) 栽培

Zelkova serrata (ケヤキ) 栽培

Moraceae (クワ科)

Ficus erecta (イヌビワ) 栽培

Broussonetia kazinoki (ヒメコウゾ) 自生

Cannabiaceae (アサ科)

- Cannabis sativa* (アサ, メキシコ種) 栽培
Cannabis sativa (アサ, トチギシロ) 栽培

Urticaceae (イラクサ科)

- Boehmeria nipononivea* (カラムシ) 自生

Polygonaceae (タデ科)

- Fallopia japonica* (イタドリ) 栽培・繁殖
Polygonum multiflorum (ツルドクダミ) 栽培・繁殖
Rumex japonicas (ギンギシ) 自生

Phytolaccaceae (ヤマゴボウ科)

- Phytolacca americana* (ヨウシュヤマゴボウ) 栽培

Portulacaceae (スベリヒユ科)

- Portulaca oleracea* (スベリヒユ) 自生

Caryophyllaceae (ナデシコ科)

- Cerastium glomeratum* (オランダミミナグサ) 自生
Silene gallica var. *gallica* (マンテマ) 自生
Silene gallica var. *quinquevulnera* (シロバナマンテマ) 自生
Stellaria media (コハコベ) 自生

Chenopodiaceae (アカザ科)

- Chenopodium album* (シロザ)

Amaranthaceae (ヒユ科)

- Achyranthes bidentata* var. *tomentosa* (ヒナタノイノコヅチ) 自生

Magnoliaceae (モクレン科)

- Magnolia kobus* (コブシ) 栽培
Magnolia obovata (ハウノキ) 栽培

Schisandraceae (マツブサ科)

- Kadsura japonica* (ビナンカズラ) 栽培
Shisandra chinensis (チョウセンゴミシ) 栽培

Lauraceae (クスノキ科)

- Cinnamomum camphora* (クスノキ) 栽培
Cinnamomum daphnoides (マルバニッケイ) 栽培
Cinnamomum sieboldii (ニッケイ) 栽培
Laurus nobilis (ゲッケイジュ) 栽培
Lindera umbellata (クロモジ) 栽培

Ranunculaceae (キンポウゲ科)

- Aconitum napiforme* (タンナトリカブト) 栽培

<i>Anemone flaccida</i>	(ニリンソウ)	栽培	
<i>Anemone hupehensis</i> var. <i>japonica</i>	(シュウメイギク)	栽培	栽培
<i>Cimicifuga simplex</i>	(サラシナショウマ)	栽培	
<i>Clematis terniflora</i>	(センニンソウ)	栽培	
<i>Coptis japonica</i>	(オウレン)	栽培	
<i>Coptis japonica</i> var. <i>major</i>	(セリバオウレン)	栽培	栽培
<i>Semiaquilegia adoxoides</i>	(ヒメウズ)	自生	

Berberidaceae (メギ科)

<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	(イカリソウ)	栽培	栽培
<i>Nandia domestica</i>	(ナンテン)	栽培	

Lardizabalaceae (アケビ科)

<i>Akebia quinata</i>	(アケビ)	栽培・繁殖	
<i>Akebia trifoliata</i>	(ミツバアケビ)	栽培	

Saururaceae (ドクダミ科)

<i>Houttuynia cordata</i>	(ドクダミ)	栽培・繁殖	
---------------------------	--------	-------	--

Aristolochiaceae (ウマノスズクサ科)

<i>Aristolochia debilis</i>	(ウマノスズクサ)	栽培・繁殖	
-----------------------------	-----------	-------	--

Paeoniaceae (ボタン科)

<i>Paeonia lactiflora</i>	(シャクヤク)	栽培	
<i>Paeonia suffruticosa</i>	(ボタン)	栽培	

Theaceae (ツバキ科)

<i>Camellia japonica</i>	(ヤブツバキ)	栽培	
<i>Camellia sasanqua</i>	(サザンカ)	栽培	

Papaveraceae (ケシ科)

<i>Argemone mexicana</i>	(アザミゲシ)	栽培	
<i>Papaver dubium</i>	(ナガミヒナゲシ)	自生	
<i>Papaver setigerum</i>	(アツミゲシ)	栽培	
<i>Papaver somniferum</i>	(ケシ, 一貫種)	栽培	
<i>Papaver somniferum</i>	(ケシ, 桃・一重)	栽培	
<i>Papaver somniferum</i>	(ケシ, 桃・八重)	栽培	
<i>Papaver somniferum</i>	(ケシ, 赤・一重)	栽培	
<i>Papaver somniferum</i>	(ケシ, 赤・八重)	栽培	

Cruciferae (アブラナ科)

<i>Arabidopsis thaliana</i>	(シロイヌナズナ)	栽培	
<i>Cardamine flexuosa</i>	(タネツケバナ)	自生	
<i>Lepidium virginicum</i>	(マメグンバイナズナ)	自生	
<i>Orychophragmus violaceus</i>	(ハナダイコン)	自生	

Crassulaceae (ベンケイソウ科)

Sedum bulbiferum (コモチマンネングサ) 自生

Saxifragaceae (ユキノシタ科)

Deutzia crenata (ウツギ) 自生

Saxifraga stolonifera (ユキノシタ) 自生

Pittosporaceae (トベラ科)

Pittosporum tobira (トベラ) 栽培

Rosaceae (バラ科)

Agrimonia pilosa var. *japonica* (キンミズヒキ) 自生

Eriobotrya japonica (ビワ) 栽培

Prunus avium (オウトウ) 栽培

Prunus mume (ウメ) 栽培

Prunus laurocerasus (セイヨウバクチノキ) 栽培

Prunus salicina (スモモ) 栽培

Prunus tomentosa (ユスラウメ) 栽培

Pyracantha coccinea (トキワサンザシ) 栽培

Rhaphiolepis umbellate (シャリンバイ) 栽培

Rosa rugosa (ハマナシ) 栽培

Sanguisorba minor (オランダワレモコウ) 栽培

Sanguisorba officinalis (ワレモコウ) 栽培

Leguminosae (マメ科)

Cassia obtusifolia (エビスグサ) 栽培

Crotalaria sessiliflora (タヌキマメ) 栽培

Gleditsia japonica (サイカチ) 栽培

Glycine max (ダイズ) 栽培

Glycyrrhiza glabra (カンゾウ) 栽培

Medicago lupulina (コメツブウマゴヤシ) 自生

Pueraria lobate (クズ) 栽培

Trifolium dubium (コメツブツメクサ) 栽培

Vicia angustifolia (カラスノエンドウ) 自生

Oxalidaceae (カタバミ科)

Oxalis corniculata (カタバミ) 自生

Oxalis debilis subsp. *corymbosa* (ムラサキカタバミ) 自生

Oxalis dillenii (オッタチカタバミ) 自生

Oxalis pes-caprae (オオキバナカタバミ) 自生

Geraniaceae (フウロソウ科)

Geranium carolinianum (アメリカフウロ) 自生

Geranium thunbergii (ゲンノショウコ) 栽培

Linaceae (アマ科)

Linum perenne (シュツコンアマ) 栽培

Erythroxylaceae	(コカノキ科)		
<i>Erythroxylon coca</i>	(コカノキ)	栽培	
Euphorbiaceae	(トウダイグサ科)		
<i>Aleurites cordata</i>	(アブラギリ)	栽培	
<i>Ricinus communis</i>	(トウゴマ)	栽培	
<i>Phyllanthus urinaria</i>	(コミカンソウ)	自生	
Rutaceae	(ミカン科)		
<i>Citrus tachibana</i>	(タチバナ)	栽培	
<i>Phellodendron amurense</i>	(キハダ)	栽培	
<i>Zanthoxylum piperitum</i>	(サンショウ)	栽培	
Meliaceae	(センダン科)		
<i>Melia azedarach</i>	(センダン)	栽培	
Anacardiaceae	(ウルシ科)		
<i>Rhus javanica</i>	(ヌルデ)	自生	
Sapindaceae	(ムクロジ科)		
<i>Sapindus mukorossi</i>	(ムクロジ)	栽培	
Celastraceae	(ニシキギ科)		
<i>Euonymus japonicas</i>	(マサキ)	栽培	
<i>Euonymus alatus</i>	(ニシキギ)	栽培	
Rhamnaceae	(クロウメモドキ科)		
<i>Zizyphus jujuba</i>	(ナツメ)	栽培	
Vitaceae	(ブドウ科)		
<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>	(キレハノブドウ)	自生	
<i>Cayratia japonica</i>	(ヤブガラシ)	自生	
<i>Parthenocissus tricuspidata</i>	(ツタ)	自生	
Malvaceae	(アオイ科)		
<i>Gossypium arboretum</i>	(ワタ)	栽培	
<i>Hibiscus syriacus</i>	(ムクゲ)	栽培	
Sterculiaceae	(アオギリ科)		
<i>Firmiana simplex</i>	(アオギリ)	栽培	
Elaeagnaceae	(グミ科)		
<i>Elaeagnus pungens</i>	(ナワシログミ)	栽培	
Lythraceae	(ミソハギ科)		
<i>Lagerstroemia indica</i>	(サルスベリ)	栽培	

Myrtaceae (フトモモ科)
Callistemon rigidus (ブラシノキ) 栽培

Punicaceae (ザクロ科)
Punica granatum (ザクロ) 栽培

Onagraceae (アカバナ科)
Oenothera biennis (アレチマツヨイグサ) 自生
Oenothera laciniata (コマツヨイグサ) 自生
Oenothera rosea (アカバナユウゲショウ) 自生

Cornaceae (ミズキ科)
Cornus officinalis (サンシュユ) 栽培

Araliaceae (ウコギ科)
Panax ginseng (オタネニンジン) 栽培
Panax japonicas (トチバニンジン) 栽培

Umbelliferae (セリ科)
Angelica acutiloba (トウキ) 栽培
Angelica decursiva (ノダケ) 栽培
Angelica furcijuga (ヒユウガトウキ) 栽培
Angelica pubescens (シシウド) 栽培
Angelica keiskei (アシタバ) 栽培
Angelica stenoloba (ホソバトウキ) 栽培
Bupleurum scorzoneraefolium var. *stenophyllum* (ミシマサイコ) 栽培
Cnidium officinale (センキュウ) 栽培
Foeniculum vulgare (ウイキョウ) 栽培
Peucedanum japonicum (ボタンボウフウ) 栽培

Sympetalae (合弁花植物亜綱)

Plumbaginaceae (イソマツ科)
Plumbago capensis (ルリマツリ) 栽培
Plumbago zeylanica (セイロンマツリ) 栽培

Ebenaceae (カキノキ科)
Diospyros kaki (カキノキ) 栽培

Oleaceae (モクセイ科)
Chionanthus retusus (ヒトツバタゴ) 栽培
Forsythia suspense (レンギョウ) 栽培
Ligustrum japonicum (ネズミモチ) 栽培・繁殖
Ligustrum obtusifolium (イボタノキ) 栽培
Olea europaea (オリーブノキ) 栽培

Gentianaceae (リンドウ科)

Gentiana scabra (リンドウ) 栽培
Swertia japonica (センブリ) 栽培

Apocynaceae (キョウチクトウ科)

Nerium indicum (キョウチクトウ) 栽培
Trachelospermum asiaticum (テイカカズラ) 栽培
Vinca major (ツルニチニチソウ) 栽培・繁殖
Catharanthus roseus (ニチニチソウ) 栽培

Rubiaceae (アカネ科)

Gardenia jasminoides (クチナシ) 栽培
Paederia scandens (ヘクソカズラ) 自生

Convolvulaceae (ヒルガオ科)

Argyrea nervosa (オオバアサガオ) 栽培
Ipomoea batatas (サツマイモ) 栽培

Boraginaceae (ムラサキ科)

Borago officinalis (ボリジ) 栽培
Lithospermum erythrorhizon (ムラサキ) 栽培
Lithospermum officinale (セイヨウムラサキ) 栽培
Symphytum officinale (ヒレハリソウ) 栽培
Trigonotis peduncularis (キュウリグサ) 自生

Labiatae (シソ科)

Callicarpa japonica (ムラサキシキブ) 栽培
Glechoma hederacea var. *grandis* (カキドオシ) 栽培
Hyssopus officinalis (ヤナギハッカ) 栽培
Lamium amplexicaule (ホトケノザ) 自生
Lavandula angustifolia (ラベンダー) 栽培
Mentha arvensis var. *piperascens* (ハッカ) 栽培
Mentha piperita (セイヨウハッカ) 栽培
Orthosiphon aristatus (クミスクチン) 栽培
Perilla frutescens var. *crispa* (シソ) 栽培
Rabdosia japonica (ヒキオコシ) 栽培
Rosmarinus officinalis (ローズマリー) 栽培
Salvia farinacea (サルビア サリーファン) 栽培
Salvia longispicata x *farinacea* (サルビア ミスティックスパイヤーズブルー) 栽培
Salvia miltiorrhiza. (タンジン) 栽培
Salvia officinalis (セージ) 栽培
Salvia patens (ソライロサルビア) 栽培
Scutellaria baicalensis (コガネバナ) 栽培
Scutellaria indica (タツナミソウ) 栽培
Thymus serpyllum subsp. *quinquecostatus* (イブキジャコウソウ) 栽培
Thymus vulgaris (タチジャコウソウ) 栽培
Vitex agnus-castus (ニンジンボク) 栽培

Solanaceae (ナス科)

<i>Capsicum annuum</i>	(トウガラシ)	栽培
<i>Datura metel</i>	(チョウセンアサガオ)	栽培
<i>Lycopersion esculentum</i>	(トマト)	栽培
<i>Nicotiana tabacum</i>	(タバコ)	栽培
<i>Scopolia japonica</i>	(ハシリドコロ)	栽培
<i>Solanum melongena</i>	(ナス)	栽培
<i>Solanum nigrum</i>	(ハダカホウズキ)	自生

Scrophulariaceae (ゴマノハグサ科)

<i>Digitalis lanata</i>	(ケジギタリス)	栽培
<i>Digitalis purpurea</i>	(ジギタリス)	栽培
<i>Linaria canadensis</i>	(マツバウンラン)	自生
<i>Verbascum thapsus</i>	(ビロードモウズイカ)	栽培・繁殖
<i>Veronica arvensis</i>	(タチイヌノフグリ)	自生
<i>Veronica persica</i>	(オオイヌノフグリ)	自生

Acanthaceae (キツネノマゴ科)

<i>Justicia procumbens</i>	(キツネノマゴ)	
----------------------------	----------	--

Plantaginaceae (オオバコ科)

<i>Plantago asiatica</i>	(オオバコ)	栽培
<i>Plantago lanceolata</i>	(ヘラオオバコ)	栽培
<i>Plantago virginica</i>	(ツボミオオバコ)	自生

Caprifoliaceae (スイカズラ科)

<i>Lonicera japonica</i>	(スイカズラ)	栽培
<i>Weigela hortensis</i>	(タニウツギ)	栽培

Valerianaceae (オミナエシ科)

<i>Patrinia scabiosifolia</i>	(オミナエシ)	栽培
-------------------------------	---------	----

Campanulaceae (キキョウ科)

<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>	(ツリガネニンジン)	栽培
<i>Platycodon grandiflorum</i>	(キキョウ)	栽培
<i>Triodanis perfoliata</i>	(キキョウソウ)	自生
<i>Wahlenbergia marginata</i>	(ヒナギキョウ)	自生

Compositae (キク科)

<i>Artemisia princeps</i>	(ヨモギ)	自生
<i>Atractylodes japonica</i>	(オケラ)	栽培
<i>Atractylodes lancea</i>	(ホソバオケラ)	栽培
<i>Bidens biternata</i>	(センダングサ)	自生
<i>Bidens frondosa</i>	(アメリカセンダングサ)	自生
<i>Conyza sumatrensis</i>	(オオアレチノギク)	自生
<i>Erigeron annuus</i>	(ヒメジョオン)	自生
<i>Erigeron canadensis</i>	(ヒメムカシヨモギ)	自生

<i>Erigeron philadelphicus</i>	(ハルジオン)	自生	
<i>Eupatorium japonicum</i>	(フジバカマ)	栽培	
<i>Gnaphalium purpureum</i> var. <i>spathulatum</i>	(チチコクサモドキ)		自生
<i>Matricaria recutita</i>	(カミツレ)	栽培	
<i>Senecio vulgaris</i>	(ノボロギク)	自生	
<i>Sonchus oleraceus</i>	(ノゲシ)	自生	
<i>Stevia rebaudiana</i>	(アマハステビア)	栽培	
<i>Taraxacum officinale</i>	(セイヨウタンポポ)	自生	
<i>Youngia japonica</i>	(オニタビラコ)	自生	

Monocotyledoneae (単子葉植物綱)

Liliaceae (ユリ科)

<i>Allium chinense</i>	(ラッキョウ)	栽培	
<i>Allium schoenoprasum</i>	(チャイブ)	栽培	
<i>Allium sativum</i>	(ニンニク)	栽培	
<i>Allium tuberosum</i>	(ニラ)	栽培	
<i>Allium victorialis</i> ssp. <i>platyphyllum</i>	(ギョウジャニンニク)		栽培
<i>Anemarrhena asphodeloides</i>	(ハナスゲ)	栽培	
<i>Asparagus officinalis</i>	(アスパラガス)	栽培	
<i>Colchicum autumnale</i>	(イヌサフラン)	栽培	
<i>Dianella ensifolia</i>	(キキョウラン)	栽培	
<i>Fritillaria verticillata</i> var. <i>thunbergii</i>	(アミガサユリ)		栽培
<i>Lilium lancifolium</i>	(オニユリ)	栽培	
<i>Lilium longiflorum</i>	(テッポウユリ)	栽培	
<i>Lilium maculatum</i>	(スカシユリ)	栽培	
<i>Ophiopogon japonicus</i>	(ジャノヒゲ)	栽培	
<i>Polygonatum falcatum</i>	(ナルコユリ)	栽培	
<i>Polygonatum kiotense</i>	(アマドコロ)	栽培	

Amaryllidaceae (ヒガンバナ科)

<i>Lycoris albiflora</i>	(シロバナマンジュシャゲ)	栽培	
<i>Lycoris radiata</i>	(ヒガンバナ)	栽培	
<i>Lycoris squamigera</i>	(ナツズイセン)	栽培	

Dioscoreaceae (ヤマノイモ科)

<i>Dioscorea batatas</i>	(ナガイモ)	栽培	
<i>Dioscorea tokoro</i>	(オニドコロ)	栽培	

Iridaceae (アヤメ科)

<i>Crocus sativus</i>	(サフラン)	栽培	
<i>Sisyrinchium iridifolium</i> var. <i>laxum</i>	(オオニワゼキショウ)		自生
<i>Sisyrinchium rosulatum</i>	(ニワゼキショウ)	自生	

Commelinaceae (ツユクサ科)

<i>Commelina benghalensis</i>	(マルバツユクサ)	自生	
<i>Commelina communis</i>	(ツユクサ)	自生	

Tradescantia ohiensis (ムラサキツユクサ) 自生

Gramineae (イネ科)

Digitaria ciliaris (メヒシバ) 自生

Imperata cylindrica var. *koenigii* (チガヤ) 自生

Setaria glauca (キンエノコロ) 自生

Setaria viridis (エノコログサ) 自生

Zea mays (トウモロコシ) 栽培

Araceae (サトイモ科)

Pinellia ternata (カラスビシャク) 栽培

Cyperaceae (カヤツリグサ科)

Cyperus rotundus (ハマスゲ) 自生

Zingiberaceae (ショウガ科)

Curcuma aromatic (キョウオウ) 栽培

Curcuma longa (ウコン) 栽培

Hedychium carneum (ニクイロシュクシャ) 栽培

Zingiber mioga (ミョウガ) 栽培

Zingiber officinale (ショウガ) 栽培

Orchidaceae (ラン科)

Habenaria radiata (サギソウ) 栽培